

XII ごみ処理広域化の状況

1 ごみ処理広域化

県では、ごみの排出抑制と減量化・資源化、ダイオキシン対策を推進することを目的として、平成10年3月に「神奈川県ごみ処理広域化計画」を策定し、県内市町村を9ブロックに区割りし、各ブロックで広域化実施計画を策定することとした(単独で広域ブロックとなる横浜市、川崎市及び相模原市を除く。)

この計画の期間は平成10年度から19年度までであり、その後は、ごみ処理広域化の取組を県の廃棄物処理計画である「神奈川県循環型社会づくり計画」に位置付け、引き続き推進している。

なお、ブロック内における調整の結果、一部のブロックでは、ブロックを分割して、ごみ処理広域化の取組が進められている。

2 広域化の状況 (平成29年4月1日現在※)

※人口及び面積は平成28年10月1日現在

各ブロックの取組状況は以下のとおり。

表XV-1 各ブロックの取組状況

—○は協議中—

ブロック名	構成市町村名	ごみ処理広域化実施計画の策定状況(策定年月)
横須賀三浦	横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町	◎横須賀市三浦市ごみ処理広域化実施計画(H21.5) ○鎌倉市、逗子市、葉山町で協議中
湘南東	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	◎湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画(H20.3) ^{※1}
湘南西	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町	◎秦野・伊勢原ブロックごみ処理広域化実施計画(H19.3) ^{※4} ◎平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画(H24.3) ^{※2}
大和高座	大和市、海老名市、座間市、綾瀬市	◎大和高座ブロックごみ処理広域化実施計画(H20.3)
厚木愛甲	厚木市、愛川町、清川村	◎厚木愛甲ごみ処理広域化実施計画(H20.3) ^{※3}
県西	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	○南足柄市、足柄上地域(中井町、大井町、松田町、山北町、開成町)で協議中 ○小田原市、足柄下地域(箱根町、真鶴町、湯河原町)で協議中
横浜	横浜市	◎単独市で構成されるブロックのため、廃棄物処理法の規定による一般廃棄物処理計画をもって、ブロックの広域化実施計画とする。
川崎	川崎市	
相模原	相模原市	

※1) 平成28年12月 改訂


※2) 平成27年 3月 改訂

※3) 平成28年 3月 改訂

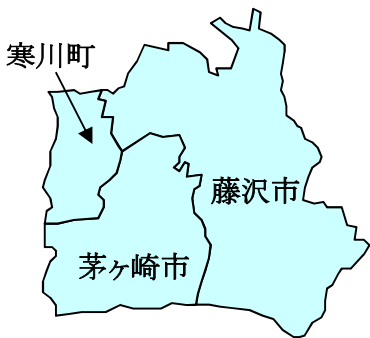
※4) 平成29年 3月 改訂

3 各ブロックの状況 (広域化実施計画策定済ブロックのみを記載)


(1)横須賀三浦ブロック

構成市町村名	横須賀市、三浦市		 <p>横須賀市</p> <p>三浦市</p>
ブロック内人口	448,381 人		
ブロック面積	132.88 km ²		
計画期間(年間)	平成21年度から平成29年度(9年間)		
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	150,729 t	(横須賀市134,880t、三浦市15,849t)	
主な計画内容及び目標値等	<p>1 基本方針</p> <p>(1)発生抑制 市民によるマイバッグの利用や、事業者によるレジ袋の有料化、簡易包装の推進等によるごみの発生抑制</p> <p>(2)排出抑制 市民による再使用の推進、集団資源回収への協力や、事業者による資源ごみのリサイクル等によるごみの排出抑制</p> <p>(3)適切な分別排出</p> <p>(4)具体的な施策内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減量化、資源化に係る普及啓発・助成 ・環境教育 ・有料化 <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○可燃性資源ごみについて、215g/人・日の資源化 ○不燃性資源ごみについて、133g/人・日の資源化 <p>3 主な施設整備計画</p> <p>(横須賀市) 焼却施設、不燃資源物リサイクルセンター</p> <p>(三浦市) 最終処分場</p>		
参考URL	<p>横須賀市HP http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4210/keikaku/5-kihon.html</p> <p>三浦市HP http://www.city.miura.kanagawa.jp/genryou/files/gomishorinimukete.html</p>		


(2)湘南東ブロック

構成市町村名	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	 <p>寒川町 藤沢市 茅ヶ崎市</p>
ブロック内人口	714,840 人	
ブロック面積	118.61 km ²	
計画期間(年間)	平成20年度から平成34年度(15年間)	
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	223,231 t (藤沢市138,275t、茅ヶ崎市71,019t、寒川町13,937t)	
主な計画内容及び目標値等	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成のための「リサイクル推進型+焼却エネルギー利用・最終処分場負荷軽減型」のごみ処理システムの構築 ・上記システム構築のための更なる3Rの推進 ・広域的かつ総合的に適正な処理施設の整備 <p>2 主な目標値(対平成27年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみ排出量原単位の削減目標 平成34年度の1人1日当たり排出量を1.2%減(853g/人・日) ○ 焼却量の削減目標 平成34年度の焼却量を1.0%減(171,343t) ○ 最終処分量の削減目標 平成34年度の最終処分量を2.5%減(6,728t) <p>3 主な施設整備計画 (藤沢市)焼却施設 (茅ヶ崎市)粗大ごみ処理施設</p>	
参考URL	<p>藤沢市HP http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kankyous/kurashi/gomi/shisaku/koikika.html 茅ヶ崎市HP http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kankyo/gomigenryo/1016277.html 寒川町HP http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/soshiki/kankyokeizai/kankyo/shigenh aikibutsu/info/gomikouikika/index.html</p>	

(3) 湘南西ブロック(秦野・伊勢原)

構成市町村名	秦野市、伊勢原市		 <p>秦野市 伊勢原市</p>
ブロック内人口	268,455 人		
ブロック面積	159.32 km ²		
計画期間(年間)	平成29年度から平成43年度(15年間)		
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	82,945 t	(秦野市50,981t、伊勢原市31,964t)	
主な計画内容及び目標値等	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発生抑制、再使用、再生利用の3Rに基づく廃棄物処理システムづくり ○ 市民・事業者・行政の役割分担に基づく廃棄物処理システムづくり ○ 秦野市、伊勢原市及び秦野市伊勢原市環境衛生組合による効率的な廃棄物処理システムづくり <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 減量化目標(平成43年度) <ul style="list-style-type: none"> ・秦野市 ごみ排出量(資源物を除く)原単位 572g/人・日 ・伊勢原市 総ごみ排出量 29,504t ○ 焼却対象量(平成43年度) <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢原市 20,256t ○ 資源化率(平成43年度) <ul style="list-style-type: none"> ・秦野市 37.5% ・伊勢原市 35.8% <p>3 主な施設整備計画 (秦野市伊勢原市環境衛生組合)粗大ごみ処理施設</p>		
参考URL	秦野市伊勢原市環境衛生組合 http://www.hadanoshi-iseharashi-kek.or.jp/		


(4) 湘南西ブロック(平塚・大磯・二宮)

構成市町村名	平塚市、大磯町、二宮町		
ブロック内人口	317,837 人		
ブロック面積	94.08 km ²		
計画期間(年間)	平成23年度から平成32年度(10年間)		
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	104,240 t	(平塚市84,539t、大磯町11,015t、 二宮町8,686t)	
主な計画内容 及び目標値等	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 循環型社会形成を目指した3Rの推進 ○ 住民・事業者・行政の協働によるごみ処理・リサイクルの推進 ○ 環境に配慮した安心で安全かつ地球環境に優しい施設整備 ○ 環境面、地域性等を考慮した施設配置及び施設運営 ○ ごみ処理経費の削減 <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 減量化の目標 平成32年度の1人1日あたりの排出量を8%以上削減(対平成21年度比) ○ 資源化の目標 平成27年度以降の資源化率27%以上 ○ 最終処分量の削減目標 平成28年度以降の最終処分量を87%以上削減(対平成21年度比) <p>3 主な施設整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> (平塚市) 焼却施設 (大磯町) リサイクルセンター (二宮町) 剪定枝資源化施設、不燃物処理施設 		
参考URL	<p>1市2町ごみ処理広域化推進会議HP http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kouiki/index.html</p>		

(5) 大和高座ブロック

構成市町村名	大和市、海老名市、座間市、綾瀬市		
ブロック内人口	577,834 人		
ブロック面積	93.39 km ²		
計画期間(年間)	平成20年度から平成29年度(10年間)		
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	166,248 t	(大和市69,348t、海老名市39,338t、 座間市33,857t、綾瀬市23,705t)	
主な計画内容 及び目標値等	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 排出抑制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生ごみの自家処理、ごみの発生を抑制するための様々なインセンティブ(誘因)の検討・導入による排出抑制の推進 ○ 資源化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資源物の徹底した分別及び生ごみ・剪定枝など有機性廃棄物の資源化の推進による焼却処理量と最終処分量の削減 ・ 焼却残渣の資源化の推進 ○ 適正処理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な資源化の推進による最終処分量の削減及び最終処分のあり方の検討 ○ 緊急時の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災・水害などの災害時や緊急時におけるごみ処理の対応に関する広域的な相互協力体制の構築 <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民1人1日あたりの排出量 平成29年度の1人1日あたりのごみ総排出量892グラム ○ 総排出量 平成29年度のごみ総排出量188,717トン ○ 最終処分量とリサイクル率 平成29年度の最終処分量11,000トン以下 平成29年度のリサイクル率30.6% <p>3 主な施設整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 焼却施設 ブロック内の2施設を有効に活用し、相互連携による延命化などにより最適なライフサイクルの実現を目指す。 ○ 焼却残渣の資源化施設 民間の活用や広域的な連携などを視野に入れた手法の検討を行っていく。 ○ 有機性廃棄物資源化施設 有機性廃棄物の資源化に向けて、4市が取り組んでいく。 ○ 最終処分場 資源化を積極的に推進し、最終処分量の削減を図っていくとともに、地域で効率的に対応するための最終処分のあり方を検討する。 		
参考URL	大和市HP http://www.city.yamato.lg.jp/web/k-hozen/kouiki.html 海老名市HP http://www.city.ebina.kanagawa.jp/shisei/seisaku/kobetsu/keizaikankyo/1003827.html 座間市HP http://www.city.zama.kanagawa.jp/www/contents/1309496728637/index.html 綾瀬市HP http://www.city.avase.kanagawa.jp/hp/page000019600/hpg000019548.htm 高座清掃施設組合HP http://www.kouzaseisou-kanagawa.jp/kihonkeikaku.html		


(6) 厚木愛甲ブロック

構成市町村名	厚木市、愛川町、清川村		
ブロック内人口	268,896 人		
ブロック面積	199.36 km ²		
計画期間(年間)	平成20年度から平成42年度(23年間)		
ごみ総排出量 (構成市町村内訳)	90,286 t	(厚木市75,989t、愛川町13,316t、 清川村981t)	
主な計画内容及び目標値等	<p>1 基本方針(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみの発生抑制に係る方針 <ul style="list-style-type: none"> ・住民、事業者及び行政機関それぞれによる減量化の推進 ○ リサイクルに係る方針 <ul style="list-style-type: none"> ・厨芥類、紙ごみ、木・竹類及び廃プラスチックの資源化の推進 ・回収方法の見直しや資源回収所の増設による資源ごみの回収促進 ○ 施設整備に係る方針 <ul style="list-style-type: none"> ・新たな中間処理施設の施設整備 <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 減量化の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市 平成32年度までに平成14年度比30%を削減(家庭系ごみ、事業系ごみ) ・愛川町 平成22年度における原単位952.3g/人・日を基準として 平成29年度に、924.6g/人・日以下(約3%減) 平成34年度に、904.9g/人・日以下(約5%減) ・清川村 平成30年度までに平成10年度比16%を削減 ○ 資源化の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市 平成32年度までに平成14年度比40%を資源化(家庭系ごみ) ・愛川町 平成22年度における資源化率20.5%を基準として 平成29年度に、26.5%(約6.0ポイント増) 平成34年度に、27.2%(約6.7ポイント増) ・清川村 平成30年度までにごみ排出量の40%を資源化 <p>3 主な施設整備計画 (厚木愛甲環境施設組合)ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設</p>		
参考URL	厚木愛甲環境施設組合HP https://www.atsugi-aiko.com/		

(7) 横浜ブロック

構成市町村名	横浜市	
ブロック内人口	3,731,293 人	
ブロック面積	437.56 km ²	
計画期間(年間)	平成22年度から平成37年度(16年間)	
ごみ総排出量	1,166,742 t	
主な計画内容及び目標値等 (横浜市一般廃棄物処理基本計画)	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三者が取り組む3R行動 ○ 安全で安定した処理・処分 ○ よりよい生活環境の確保 ○ 市民の視点に立ったサービスの向上 ○ コスト意識と適正負担 <p>2 主な目標値</p> <p>平成37年のごみ排出量を10%以上削減(対平成21年度比)</p>	
参考URL	横浜市HP http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-keikaku/keikaku/3rm/	

(8) 川崎ブロック

構成市町村名	川崎市	
ブロック内人口	1,489,477 人	
ブロック面積	143.00 km ²	
計画期間(年間)	平成28年度から平成37年度(10年間)	
ごみ総排出量	461,616 t	
主な計画内容及び目標値等 (川崎市一般廃棄物処理基本計画)	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会状況の変化等に的確に対応し、限りなくごみをつくらない社会を実現します ○ 市民・事業者・行政の協働により“エコ暮らし”を実践し、さらに3Rを推進します ○ 安心して健康に暮らせる快適な生活環境を守ります <p>2 主な目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ごみの発生抑制の推進 <ul style="list-style-type: none"> 1人1日あたりのごみ排出量を10%削減する(998g(平成26年度実績)⇒898gに削減) ○ ごみ焼却量の削減 <ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却量を4万トン削減する(37万トン(平成26年度実績)⇒33万トンに削減) (家庭系2万トン削減、事業系2万トン削減) 	
参考URL	川崎市HP http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/24-1-24-1-1-1-0-0-0-0.html	

(9) 相模原ブロック

構成市町村名	相模原市	
ブロック内人口	721,552 人	
ブロック面積	328.66 km ²	
計画期間(年間)	平成20年度から平成30年度(11年間)	
ごみ総排出量	231,044 t	
主な計画内容及び目標値等 (相模原市一般廃棄物処理基本計画)	<p>1 基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 4Rの推進と循環型スタイルの確立 ○ 資源を循環させる社会システムの構築 ○ 市民・事業者・行政の協働によるごみを出さない環境づくり <p>2 主な目標値(対18年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の1人1日あたり家庭ごみ排出量480g以下(約24%減) ・平成30年度のごみ総排出量を223,000t以下(約18%減) ・平成30年度のリサイクル率25%以上(約7%増) ・平成30年度の最終処分量21,000t以下(約37%減) 	
参考URL	相模原市HP http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/recycle/plan_etc/1008432.html	

図X V -1 ごみ処理広域化ブロック

